

2017年3月 15日 発行

滋賀県学童保育連絡協議会

TEL/FAX: 077-535-5519

E-Mail: shiga-gakudou@maia.eonet.ne.jp

2017年で創刊43年を迎える

月刊「日本の学童はいく」は、4月号で通巻500号となります！

月刊「日本の学童はいく」は、働きながらの子育て、学童保育実践、学童保育運動のために必読の月刊誌として、また学童保育運動を支える財政基盤として、学童保育に関わる人々がつくり、充実させてきた全国学童保育連絡協議会の機関誌です。

滋賀県連協は、2003年度以降毎年、編集委員やモニターを送り出して、『日本の学童はいく』の内容づくりに関わって来ました。また、これまで、特集、グラビア、子どものひろば、読者のひろば、実践ノート、わたしは指導員、出会い集い父母会、子育て日記、たのしいな等、たくさんの人たちが執筆して来ました。今年度、県連協総会で決めた購読目標は1500冊でした。※下記購読数推移参照

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
1,591	1,606	1,600	1,596	1,626	1,602	1,585	1,575	1,580	1,618	1,546

引き続き2017年度も購読目標を新たに 皆さんのご協力よろしくお願ひします。

■『日本の学童はいく』では、モニターさんの募集を受け付けています(詳細は県連協事務所へ)

*モニターさんのお仕事は本誌を購読して忌憚のない感想・意見を送っていただくことです。

*モニターさんの通信は、本誌の「読者のひろば」等に掲載させていただく場合があります。

その際は、「掲載可」とお知らせくださったもの・確認がとれたもののみを掲載します。

■謝礼

1年間の通信回数に応じて、2018年4月上旬ごろ、図書カードをお送りします。

通信回数	1回	2~3回	4~5回	6~7回	8~9回	10~11回	12回
謝礼額(円)	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500

通信を「読者のひろば」に掲載した場合は別途、500円の図書カードをお送りします。



第35回滋賀県学童保育連絡協議会定期総会のお知らせ

◆日程 4月23日(日) 13:00受付 13:30開始

◆場所 コミュニティセンターきたの
野洲市三宅313 TEL 077-586-2450

第35回滋賀県学童保育連絡協議会総会を開催します。

この総会では、2016年度の活動報告・決算と

2017年度の活動方針・予算・役員体制などを決定します。

各学童保育の保護者、指導員のみならずのご出席をお願いします。



栗東の指導員活動

栗東市では社協運営になったと同時に指導員会(月に1回程度市内の指導員が集まって話し合う場)が無くなり、常勤会議のみが全所の常勤指導員が月に一回集まるだけになってしまいました。常勤、非常勤、アルバイトと様々な立場の違いはあれど、子どもの中にはみんなが指導員です。同じ栗東市内で働く指導員同士が支えあい、時には厳しい意見も出し合って保育の質を向上させたい。保護者と指導員が共に良い学童保育について考えていく場の必要性。そんな様々な思いや目的を持って栗東市学童保育指導員連絡協議会(栗指連協)を立ち上げました。常勤だけの会になってしまわないように色んな立場の指導員が事務局に入ることでも興味を持って参加してもらいたい環境を作るように心がけてきました。自主的な研修として福井雅英先生をお呼びして学習会を開いたこともありました。そんな栗指連協は今年度で10周年を迎えました。4月からは「遊び」「工作」「おやつ」「学童誌」という4つのサークルを立ち上げ、勤務を外れてそれぞれの内容にあった活動しながら交流し、息抜きをしています。さらに栗東では初めての職員旅行を実施してみました。家族連れでの参加もOKだったので、我が家の3才の息子と小学1年生も参加し、その帰り道に娘は「次はいつ行ける?」と早くも次回を期待していました。これからも形にとらわれないことな積極的に質の向上や連携強化、そして何より指導員の仕事を楽しみ誇りをもって出来るような活動をしていきたいと思っています。

*「学童誌」は栗東での「日本の学童はいく」の通称名です。
栗東 指導員 家永 薫



大津の指導員組織は...

大津の学童保育が公設公営になって16年が経とうとしています。現在、大津の指導員は、『大津市職員労働組合連合会(大津市労連)』のなかの『大津学童保育(児童クラブ)指導員労働組合(学童保育労組)』と自主研修組織である『大津学童保育(児童クラブ)指導員会(がっぼ会)』という二つの組織で活動しています。

それは、民営時代から大切に、積み上げてきた「保育内容の充実・指導員としての資質向上と労働条件の改善、確立を統一的に進めていく」ことを公営後も引き続き追求しているからです。

公営化後、コソコソと労働組合活動を進めるなかで、私たちは嘱託・臨時という不安定な身分ではありませんが、『時間外手当の支給』『代表指導員の報酬上乘せ』そして最近では『3年間連続の賃金・報酬の改善』などを勝ち取ってきました。また、がっぼ会では、『すぐに役立つ実技の研修』を楽しく交流しながら行なっています。二つの組織は、「大津の指導員みんながより良い保育をすること、そしてより良い指導員になれるように、そのために働き続けることができる条件づくりを。」という同じ目標を持って活動しています。

『大津市学童保育(児童クラブ)連絡協議会(大津市連協)』とは、「大津の学童保育(児童クラブ)を良くする」という共通の目標のもと、協力・共同関係で活動しています。「働きながらの子育てを懸命に頑張っておられる保護者を励まし、共により良い子育てを進めていけるよう支援したい」と考えています。もちろん、私たち指導員の方が保護者のみなさんから、励まされ、支えられていることは言うまでもありません。これからは子どもたちに、保護者に、そして指導員にとって、学童保育のなかで最善の利益を保障できるように互いに手を携えていきたいと思っています。 大津 指導員 竹中真美

